第5期 東久留米市地域産業推進協議会
(第2回会議録)

- 1 日 時 平成29年1月18日(水)午後6時30分～8時
- 2 会 場 東久留米市役所6階602会議室
- 3 出席者等(敬称略・順不同)

大山 賢一	大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 武博	篠宮 利則	篠宮 宣典
長谷山大輔	水越 泰弘	横山 和子	若林 弘子		

事務局 鹿島、関、野村、森山、森本、笹生、三沢、瀬口
アドバイザー 2名
傍聴人 1名
欠席 岩崎 哲二、前神 有里

4 次 第

- (1) 事務局より事業報告・問合せ報告
- (2) 各委員より事業提案
- (3) 今後の取り組みについて
- (4) その他

5 議題

- (1) 事務局より事業報告・問合せ報告

・地場産野菜の料理教室について

(事務局) 4期の活動の地場産野菜の料理教室について報告する。農商工業推進事業部会で講師を料理研究家の方に依頼する旨を承認いただくとともに、使用する野菜や保育の実施についてご提案をいただき、「地場産野菜の料理教室」を実施。料理教室は全4回で実施し、述べ100人に参加頂いた。募集開始とともに申し込みが殺到し、3日目にはキャンセル待ちになる盛況ぶりであった。内容としては、市内の野菜を沢山使い(生姜以外は東久留米産の野菜)、生育過程をFacebook・twitterで掲載し、より身近に感じてもらうことができた。また、ブランド認定品の試飲・試食をおこなった。料理教室のレシピは市ホームページ等で周知をしている。アンケートも実施し、普段市内で買い物している方でも知らなかったものが多かったとの意見が多く、市内の野菜を購入してもらっている人が多かった。また、継続してほしいとの意見が多かったので、来年度以降もどのような形態で実施していくか、ご意見いただきたい。

・ダイヤモンド富士について

(事務局) ダイヤモンド富士について、資料は12月18日の富士見テラスの様子であるが、大勢の人が集まっており、時間でいうと13時・14時頃から集まっていた。富士見テラスの駅舎側にある窓ガラスに映るダイヤモンド富士を楽しんでもらうこともできた。昨年度からイトーヨーカ堂の屋上も開放しており、こちらについても、多くの方が集まった。11月以降が一番多くみられるようだ。ダイヤモンド富士や富士山の研究を行っている方に、東久留米のダイヤモンド富士の魅力について色々教えて頂いた。東久留米のダイヤモンド富士は、冬至の時期の太陽の折り返し地点のため、長期間楽しむことができることが特徴であり、ビルとビルの上に挟まれた富士山は額縁効果で大きく見えるとのことを知った。また市内の写真家の方に、ダイヤモンド富士のポスターの写真の提供して頂いている。スペース105で写真展も同時開催され、多くの方が来たとのこと。外国人も多かったようだ。NHKの首都圏ニュースに出たことで、12月21日には372人と来場者が増加し、曇っていても来場者が多く、テレビの効果はすごかった。来場者数は富士見テラス1,000人程、イトーヨーカ堂400人強、合計で約1,500人にダイヤモンド富士を楽しんでもらった。

・H28 観光問合せについて

(事務局) 平成28年4月からの観光の問合せについてまとめた。4月から暖かい時期はウォーキングや花の問合せが多かった。中国人の観光ツアーで東横インに泊まるので大型バスを停める場所が必要との問合せがあったが、対応できなかった。また、フリーWi-Fiの問合せも多くあった。問合せの3/4以上の方が60歳以上の問合せであった。

(会長) 以上の報告で質問等あればお願いしたい。

(委員) 料理教室の参加者アンケートの属性を知りたい。

(事務局) 男性の参加は1名のみであった。11月と12月両方参加した方もおり、全部で60名程度の参加であった。20代はなし、30代から80代の女性が多かった。

(副会長) 次回イベントを行うときは動画を撮って、動画を載せるといいと思う。

(事務局) 今回の「地場野菜の料理教室」は無料であったが、参加費を取る場合いくらなら参加したいかというアンケートで500円から1000円くらいが一番多かったが、中では3000円でも参加したいとの意見もあった。

(事務局) 長年撮影している方に伺うと、ダイヤモンド富士は寒くて風が強いときが一番きれいに見ることができるようだ。

(委員) あまりに人が多くなるとトラブルが起きるのではないか。

(事務局) 12月18日～25日に見えることは変わらないとのこと。イトーヨー

カ堂のように新しい場所を開拓していくのもいいかもしれない。

(副会長) イトーヨーカ堂の駐車場で飲食を扱うような模擬店が出ると良い。

(会長) 今年は、ダイヤモンド富士が見られる日が多かったのか。

(事務局) 晴れの日全部見ることができた。

(2) 各委員より事業提案

(委員) 農商工では、東久留米特産品のラベル・パッケージの作成・統一を行いたい。女性の意見を採り入れてかわいらしいデザインにしたい。現在はバラバラで統一性がないので、統一感をもたせたい。

観光では、昨年のコカ・コーラとのツアーを山崎パンやグローブライドの工場見学など企業と行政を結び付けるような取組みをしたい。自由学園と行政が関わるような取組みをしたい。スポーツライミングを東久留米発でもっと普及させたい。東横インもできたので、市外からの人の流れを作りたい。

(委員) SNSやホームページ、**Youtube** を見る方が多い中、もっと付加価値を付けて売り出せないかと思う。コカ・コーラとコラボした商品、東久留米の「ここでしか飲めないもの、買えないもの」を作る。

クリスチャンアカデミーとコラボしてイベント等を開催できないか。

アニメにゆかりのある街でもあるので、ここを舞台にアニメの映画を作ってもらうなど誘致していけないか。

(委員) るるめちゃんを自分の仕事内でよく使用しているが、最近あまり使用しているところを見ないので、既存のるるめちゃんの活用をもっと促していきたい。東久留米市を散策しようとするのと徒歩だと大変。レンタサイクルを東横インや西武鉄道とコラボして実施できないか。

B級グルメ「煮いだんご」をアピールしたい。郷土料理ということで給食に出たこともある。小平でも給食で煮いだんごを出していて取られるのはもったいない。「河童のクゥ」が一番初めのアニメだと思うが、「東のくるめと隣のめぐる」のアニメ化で聖地になるのではないか。作者と繋がりを持って大々的にPRしていけないか。市内の農商工を市内だけでなく市外にもPRしていきたい。

(委員) ご当地アイドルがいればPRになるのではないか。イベント会場に出てもらおう。アイドルは女子だけでなく、男子やおじさんでもおばさんでも良いと思う。観光大使もいるといい。

(副会長) 若手から好かれる街にしたい。各委員が言った提案をやっていけば若手に好かれるのではないか。

(委員) 今年限定ではあるが、6月に青年会議所でわんぱく相撲を開催する(東京都全域のイベント)ので、そういったところで東久留米をPRしていきたい。B級グルメを確立させて、「東久留米といえばこれだ!」というものを作ってい

きたい。スポーツではフットサルをもっと盛り上げていきたい。「河童のクウ」の第二弾をやってほしい。

(委員) 前期に行っていた空き店舗や空き家がまだまだ途中なので、事業としてなれるようにしていきたい。地方だと移住体験ツアーを実施しているので、東久留米に引っ越しを考えている人向けのツアーを実施すると面白いと思う。

(委員) るるめちゃんを使ったカタログギフト(市の特産品などが買える)を作りたい。包装もるるめちゃんのイラストを使用したい。東久留米市のPR動画。東久留米の体験ツアーとして、はとバスなどを使って市内を巡るツアーを開催したい。四季ごとの観光マップを作りたい。代表的な野菜(小松菜・ほうれん草等)を使ったカレーやケーキ等を作りたい。お花の農家さんが開催する花壇に花を植えるイベントを開催したい。

(委員) 委員全体で盛り上がるイベントをやりたい。東久留米飯(深川飯のような)を作りたい。海外の人が知らないような食べ物を利用した未知の食べ物を作りたい。農業テーマパークを作りたい。農業の体験学習・収穫したものの料理教室・工作教室・道の駅など。市内出身の芸能人がテレビで東久留米をPRしてくれていた。観光大使に任命して、イベント時には常に呼んでPRしていきたい。観光大使任命式をyoutube等でPRしていきたい。

(会長) 東久留米かるたを作りたい。小さい時から遊びながら東久留米の事を知ってもらいたい。

(会長) では、質問や自由な発想で意見を言ってほしい。東久留米市で観光大使の任命は可能なのか。

(事務局) 身体検査が大変である。現在生きている方ということで、リスクがある。イベントに出てもらうのであれば、毎回謝金が膨大にかかるのではないか。個人の想いの中で東久留米をPRしていきたいという人にやってもらいたい。

(副会長) 有名人に無償でやってもらうと、その人の価値が下がってしまうので難しいと思う。深川飯のような新しいものを作るのは面白いと思う。

(会長) ゆかりがなくても良いと思う。

(副会長) 茨城の大洗町のアニメ「ガールズ&パンツァー」がとても人気で、土日で大勢の若者が集まっている。ふるさと納税も多く集まっている。

(会長) 単独ではなく、いくつか併せて開催していけばいいと思う。

(3) 今後の取り組みについて

(会長) 今回各委員から集まった意見を集約して、もう一歩先に進んだ意見を頂戴したい。次回新産業事業部の他、2事業部を設置する。ジャンル分けすると農業と商業(観光)になる。どの事業部に入りたいかご意見いただきたい。

(事務局) まとめを考えてもらう中で、大きな枠で考えると2つになる。農業

系の取り組みと、観光系（東久留米のPR）に分けられると思う。

（委員）次回までの意見というのはどういう形で考えればいいのか。具体化したものを考えた方がいいのか、今回と同様の意見を述べる程度で良いのか。

（会長）自分の意見を具体化するのでもいいが、各委員の意見を採り入れてより具体的なものまで考えてきてほしい。

（委員）事務局で皆さんの意見を整理してもらいたい。

（事務局）今日の意見を集約したものを委員の皆さんにお送りする予定である。

（委員）ただ箇条書きにするのではなく、親和性の高いものをまとめるなどしてほしい。

（４） その他

（活性化センター）「29年度開催セミナーの案内」「もてなさない定住促進」「木を活かした教育・暮らし」「第4回木育サミット」のご案内。

（委員）1月14日の七福神めぐりにご協力いただき感謝申し上げます。今年の参加者数は約1900人。昨年は3000人越えであったので、約半分になった。要因は寒い等あるが、一番は参加費の徴収であったと思う。

次回は来月（下旬）開催予定